

## 世田谷村日記

石山修武

一月二十七日

七時半起床。九時半研究室日経新聞インタビュー。千葉の高橋さんより連絡が入っていて、二月に入ったら具体的な打合わせを始めなければならぬ。十二時東京ガス・オゾン。十三時コンペの公開審査。十七時修了。表彰式。十八時修了。世田谷村戻り、休む。

一月二十八日

九時修士設計チエック。九時半四年設計製図採点。建築学科は六年制に移行しているので、四年の卒業設計に学生の力が入らなくなっている。三年の製図よりも力量が落ちている感あり。西谷研究室のアルミ構造の設計に最高点をつけざるを得なかった。十三時フジタ来。十三時半石山研一期生北園徹来。十四時北園レクチャー。十五時日本フィンランド・デザイン協会島崎理事長来室。十七時大成建設来。十八時建築文化インタビュー。

一月二十九日

十時杏林病院、脳神経外科。先日のMRIの結果は異常無しで、もう来なくて良い事になった。総合内科の主治医清川先生の指示を受ける。これを機に体の全てをクリーンアップしてしまうつもり。十二時半人事小委員会。十三時卒計判定会。今年の卒計は謂わゆる上澄み、つまり早稲田らしい凄モノは一点も無かった。十六時

機械Bの先生方と第一回のゼミナール。入江主任と私が小プレゼンテーションした。モヴァイル研究会を発足させたい。十九時野田さん宅。打ち合わせ。野田さんというクライアントの姿がハッキリ視えて来て面白くなってきた。キッチンとお附合いしてゆこう。二十三時過世田谷村。